

オオムラサキ博士になろう

オオムラサキの観察 1

1年を通して季節ごとのオオムラサキを観察し、自分の観察記録ノートを作ろう。

開催日時 4月8日（日）
午前10時から12時まで

定 員 20名

開催場所 オオムラサキ自然公園

協 力 自然とオオムラサキに親しむ会

服 装 汚れても良い服装、

持ちもの 軍手、鉛筆、カメラ 雨天中止

ボランティアの日

オオムラサキセンターのお手伝いをして下さい。

開催日時 4月14日（土）
午前10時～12時

開催場所 オオムラサキ自然公園

内 容 随時内容が変わります
（草刈り、笹刈り、ゴミ拾い等）

服 装 作業のできる服装、
軍手

イベント情報

里やまを楽しむ

森の遊園地を作ってみよう。また、棚田に咲く菜の花でクッキングをしてみよう。

開催日時 4月15日（日）
午前10時から12時まで

定 員 20名

内 容 森の中に落ち葉のクッション等の遊び場を作ります。

開催場所 オオムラサキ自然公園

持ちもの 軍手、はし、皿、コップ

服 装 汚れても良い服装、 *雨天中止

蝶の舞う

やさしいガーデニングスクール

ガーデニングの専門家の指導により花の寄せ植え、土作りやアレンジの仕方を学びます。家に持ち帰ってガーデニングができるように、花の即売も行ないます。

開催日時 4月21日（土）と22日（日）の二回

開催場所 オオムラサキ自然公園

講 師 北緑会（県造園技能士会峡北支部）

服 装 作業のできる服装、軍手

持ち物 移植ゴテ

親子写生大会 in 里山

農村公園竣工記念式典

メダカやゲンゴロウが棲み、人とは切っても切り離せない棚田。その棚田を守るために長坂町では水路やあぜみちを整備したり、水車やつり橋もつくって昔、懐かしい里やまの原風景を復元しました。

なつかしい里やまの棚田の風景を見つめ、そこで新しい体験を試してみませんか。

開催日時 4月30日（月） 午前9時30分から10時まで
午前9時30分から記念式典

午前9時45分から棚田の歩き初め

開催場所 オオムラサキ自然公園

農村公園竣工記念イベント

親子で写生をしてみませんか。作品はオオムラサキセンターに展示します。

開催日時 4月29日（日）

定 員 30名

開催場所 オオムラサキ自然公園

持ちもの 汚れてもよい服装、絵を描くための道具、

講 師 田中旻さん

主 催 オオムラサキセンター 雨天中止



ヒヤシンス

お問い合わせ・お申込は

〒408-0022

山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地

長坂町オオムラサキセンター

TEL&Fax 0551-32-6648

URL <http://www.yatsu.gr.jp/ngs/oomurasaki/index.html>

オオムラサキ通信

No.35



ツクシ

発行：平成13年3月28日

編集：長坂町オオムラサキセンター

〒408-0022 山梨県北巨摩郡長坂町塚川 2812 番地

TEL&Fax 0551-32-6648

オオムラサキ最新情報

冬を越したオオムラサキの幼虫を観察する「越冬幼虫観察会」が、3月25日（日）午前10～12時までオオムラサキセンターで23名が参加して行なわれました。

昨年12月3日に行なわれた観察会の時に調べた同じ調査木の幼虫が、冬を越してどのくらい生き残ったかを調べてみました。12月に調べた幼虫数と、今回の数が大きく食い違う結果が出てしまいました。その原因として昨年12月の調査終了後、生態観察施設を新しく作り変えるため、古い飼育施設内の幼虫を全て別の場所に移し替えました。この時に、エノキの樹木番号を取り違えていた可能性があります。

今回は2本のエノキしか調べませんでしたので、幼虫を移し替えた全てのエノキを調べて、総数を比較してみないと生存率は分かりませんので、今回は報告できません。

今回の調査結果だけを報告します。

* NO2の木は根元から 30センチの範囲と
30～50センチの範囲に分けて調査しました。

幼 虫 数		
調 査 木	1 2 / 3	3 / 2 5
No. 1	2 0	1 0
No. 2	2 5 1	3 0 2 8
No. 3	3 0	1 1 7
No. 4	5 2	未調査
No. 1 5	5	未調査
計	3 5 8	1 8 5

オオムラサキの4 齢幼虫



顔が見える？

エノキコーナー vol 5

自然とオオムラサキに親しむ会

朝日 竹夫

3月、今年の気候はちょっと変でした。暖冬が続いたのでそう思うのか寒さがおそくまで居座りました。

月初めの4日久々に冬のオオムラサキ観察歩道を歩きました。曇天無風の午後、針葉樹林の中は残雪が10糎(センチメートル)ほどですが雑木林の中は落ち葉の道でカサコソと心地良い足音で、雪道はパリッギュと雪のしまる音が聞こえました。気配は真冬の張り詰めたピーンとしたものでなくフワーとした静けさでホンワカとした気持ちになり季節は確かに春だと思いました。

残雪の道にキャラバンシューズの足跡が2人分はっきり残りそれも午前中歩いたものでした。ところどころにマウンテンタイヤ(自転車)のあともあり、冬の山道を心おきなく散歩し早春の気配を独り占めした人達もいるんだと思いました。

雑木林には、枯れ葉の付いているヤマコウバシが見られ小枝を折ると香ばしい薫りがして春の息吹が漂い一人歩きにはちょっとぜい沢だな、と思いました。日だまりの原にはオオイヌノフグリが満開で青と緑が枯れ草とくろ土に囲まれて目に鮮やかで印象的なものでした。

樹木は一段と大きくなり隣同士が競い合っていることと、随所に風倒木があることが見られ、昔は「山は財宝」今は「山は厄介な存在」とか……。考えさせられました。

地球環境の悪化の一面をかいま見た一日でした。

今年もセンターのイベントに参加して何かを受取りたいと思いました。

オオムラサキ自然公園の様子

今年の冬は、とても寒くて、雪が多くて、長かったので一段と春が来たことがう・れ・し・い です。

気持ちのせいか、公園内を歩いてみるとなんだか公園が違って見えるのです。(そう、公園は生きていて動いているのです。)雪融け水が土にしみ込んで土や石を少しずつ動かし、土砂を崩してしまったところもありましたし、小さな花が地面にひょっこり顔をだし咲いているところもありました。

天気の良い日に、私も子供のようにはしゃいで小さな発見を楽しみました。ぜひ、皆さんも観察しに来て下さい。それでは春のオオムラサキ自然公園を紹介しましょう。

<今咲いている花>

レンギョウ、アオイスミレ、セイヨウタンポポ、ビオラ、フキノトウ、ツクシ、スイセン、ヒヤシンス、ネコヤナギ……。すごいスピードで毎日、違う花が咲き始めています。レンギョウの花のカーテンが咲きそろそろ頃は、多分、4月半ばでしょう！

<鳥たちの姿>

キジが川向うでつがいにいるのを見つけました。「ケーン、ケーン」と鳴いて姿を隠しました。

<昆虫たちの様子>

センターの事務所や館内に、クモや毛虫がもそもそとあらわれてきました。

<芽吹き>

ヤナギの芽が芽吹いてきました。

芽吹きも急ピッチ！！

そろそろ、雑木林の色が変わっていくよ。



アオイスミレ

きのこのほだ木づくりに挑戦

きのこのほだ木づくり実施報告

3月4日10時から、オオムラサキセンターにおいて森林環境教育利用促進事業の一環として「きのこのほだ木づくり」が行われました。大雪が降っていましたが多数の参加者が集まり、「どんな木が適するのか」「どう管理するのがよいのか」といった質問を熱心に講師にしていました。また地元富岡区公民館文化部の皆さんも参加されました。

講師の秋山種菌研究所の名取さんは「菌を植え込む事は簡単ですが、きのこが出てくるまでの管理が一番大切です。頑張ってください。」と話して下さいました。

昔は長坂町でも盛んに行なわれていたほだ木作りですが、今では貴重な体験になってきてしまったようです。

春の香り ヨモギも出てきたよ！



今年度も後少し...

皆様には暖かいご支援、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

4月からは職員に新しいメンバーが増えます。これからもより良い施設を目指して職員一同、頑張っていきたいと思います。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

土から顔を出す芽



木って良い匂いだね！

オオムラサキ自然公園において3月18日(日)森林環境教育利用促進事業の一環として「オオムラサキの木工教室」が行われました。

県産材を使っていこうと活動している白州町に住んでいらっしゃる清水さんを講師にお招きして、鳥の巣箱やブックスタンドなどを作りました。

くぎを金づちで打つと木の香りが立ち上って、とてもよい匂いがしました。子供たちもそれに気づいているようでした。

木の香りを楽しみ、木に触れ、木と親しみながら過ごした一日でした。

大切に使ってください。

オオムラサキ通信について

2000年度オオムラサキ通信にあたたかいご支援、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

2001年度オオムラサキ通信のペーパー版を希望される方は2001年3月31日までに1年間分(80円切手×12ヶ月分)の郵送切手を当センターまでお送りください。(ホームページ上でも同じ内容で通信を載せていますので、そちらでもご覧になれます。)

2001年度もより良い通信を目指して職員一同、頑張っていきたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。